

HAKKO 931

SOLDERING STATION

ステーションタイプはんだこて（アナログ温度設定）
品番／931-1

取扱説明書

ごあいさつ

このたびはハッコー 931 をお買い求めいただき
まことにありがとうございます。

本書はハッコー 931 の使い方やメンテナンスなどが
簡単に説明されております。

お使いになる前に必ず本書をお読みください。
また、お読みになった後も大切に保存しておいてください。

目次

1. セット内容	1
2. 仕様	1
3. 取扱い上のご注意	2
4. 各部説明	3
5. 使い方	4
6. 使い方（動作異常の時）	5
7. メンテナンス	6
8. 温度校正	6
9. 部品交換	7
10. 交換部品	8
11. 分解図・部品リスト	9・10

1. セット内容

ステーション.....	1	スプリング式こてホルダー.....	1
こて.....	1	ニップル用レンチ.....	1
こて台ベース.....	1	取扱説明書（本書）.....	1
クリーニングスポンジ.....	1		

2. 仕様

品番	931-1
品名	ハッコー931
電源	AC100V 50/60Hz
消費電力	100W

■ ステーション

品番	C1055
品名	ステーション／100V
出力電圧	AC24V
制御温度	200～450℃
温度精度	ダイヤル設定温度に対して±10℃ 無負荷時リップル温度±2℃以下
電源コード	二極接地型プラグ付きゴムコード（1.5m）
外形寸法	135（W）×95（H）×190（D）mm
重量	2.7kg

★測定条件

こて先温度／上記の温度表示は、ハッコー 191（こて先温度計）で測定した温度です。
（注）こて先温度計のセンサー部が劣化している場合、10～40℃低く表示されることがあります。

■ 静電気対策品への取り扱い注意

本製品は、プラスチックへの導電性付与、こて部・ステーション部の接地といった静電気対策が施されていますので、下記の注意を厳守してください。

- グリップなどのプラスチックは、絶縁物ではなく導電性プラスチックです。修理時には十分注意を払い、活電部の露出・絶縁材の損傷がない様部品交換、修理を行なうこと。
- 必ず接地して使用すること。

- ※ この商品は静電気対策されています。
- ※ この商品は中国 RoHS に適合しています。
- ※ 仕様及び外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、あらかじめご了承ください。

■ こて

品番	C1051
品名	ハッコー902/2.4D型こて先付
消費電力	AC24V-90W
こて先アース間抵抗	2Ω以下
モレ電圧	0.6mV以下
ヒーター	インテグレイテッド・ヒーター
プラグ	5ピンネジロック式
全長（除コード）	180mm
重量（除コード）	45g

■ こて台

品番	631-01
品名	ハッコー631
仕様	こて1本（M/L）用
ベース寸法	80（W）×137（D）mm
こて差し込み口	内径30mm

中国RoHS: 製品中有毒有害物質或元素の名稱及含量

部材名稱	有毒有害物質或元素					
	鉛(Pb)	汞(Hg)	鎘(Cd)	六價鉻(Cr(VI))	多溴聯苯(PBB)	多溴二苯醚(PBDE)
焊鐵部	×	○	○	○	○	○
電線組件插頭	×	○	○	○	○	○
○：表示該有毒有害物質在該部件所有均質材料中的含量均在SJ/T 11363-2006 標準規定的限量要求以下。 ×：表示該有毒有害物質至少在該部件的某一均質材料中的含量超出 SJ/T 11363-2006 標準規定的限量要求。						

3.安全及び取扱い上のご注意

警 告

この説明書では、注意事項を下記のように「警告」「注意」の2つに区分して表示しています。
内容をよく理解されてから本文をお読みください。

⚠ 警告: 誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意: 誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●安全のため以下の注意事項を必ず守ってください。

⚠ 注 意

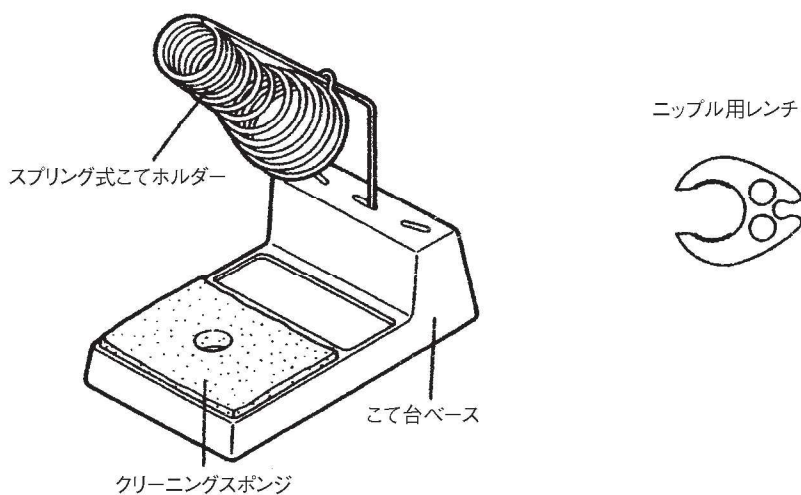
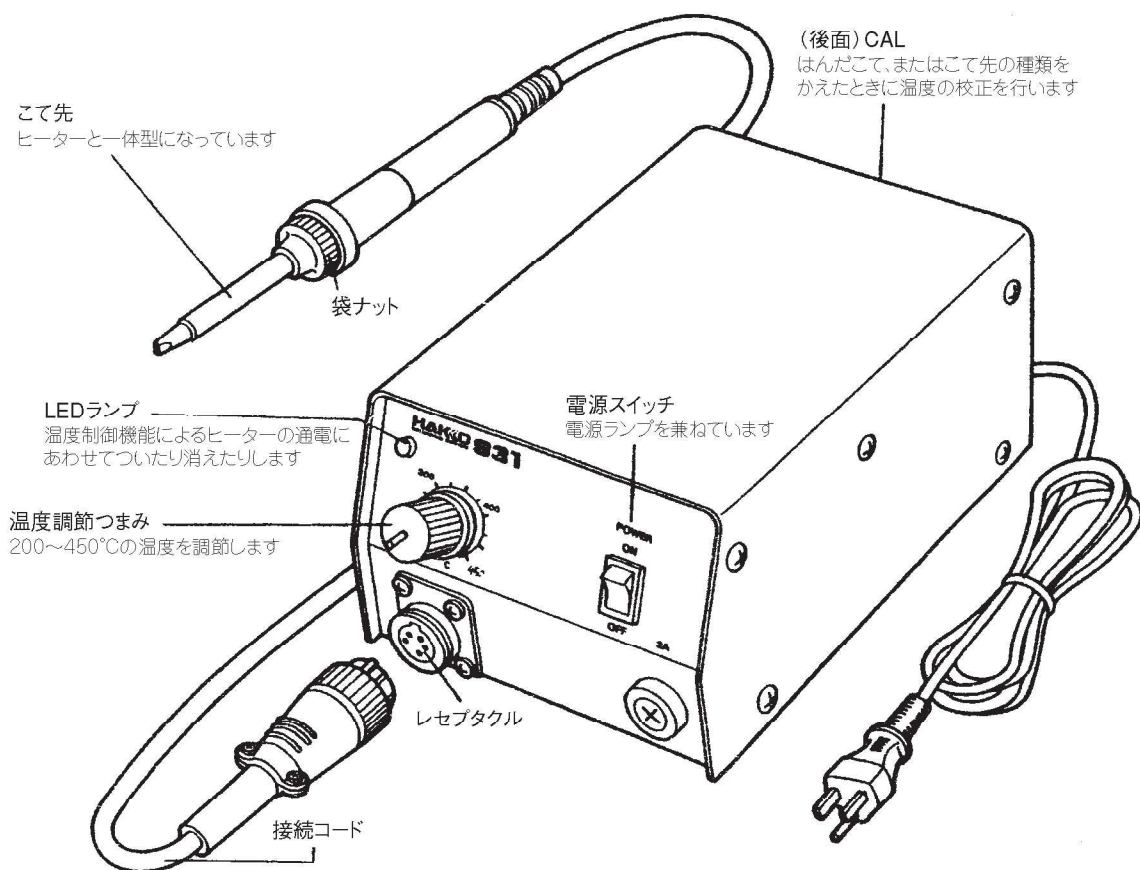
電源を入れると、こて先温度は200～450℃の高温に達します。取り扱いを誤ると、やけど・火災の恐れがありますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

- こて先周辺の金属部分とこて台のスプリング部に触れない。
- 燃えやすいものの近くで使用しない。
- 周囲の人に「高温に付き危険である」ことを知らせる。
- 使用中を中断・終了する時や、その場を離れる時は電源を切る。
- 部品交換時や収納時は必ず電源を切り、十分に冷えたことを確認する。

●事故や故障につながりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

- はんだ付け以外の用途で使用しない。
- はんだかすを取るために、こてを作業台に打ちつけるなど強い衝撃を与えない。
- こての袋ナットはしっかりと締まった状態で使用する。
- 本品を改造しない。
- 交換部品には、純正部品を使用する。
- 水につけたりぬれた手で使用しない。
- はんだ付けする際、煙が発生しますので、よく換気をする。
- その他危険と思われる行為は行わない。

4. 各部説明



5. 使い方

1. こて台の組み立て

- ・ こて台ベースにスプリング式こてホルダーを取り付けます。
- ・ クリーニングスポンジに水を含ませておきます。

⚠ 注意

本品は圧縮タイプのスポンジを使用しています。水にぬらすと膨張します。必ずスポンジをぬらしてお使いください。そのまま使用すると大切なこて先をだめにしてしまうことがあります。

2. こてをこて台に差し込む

3. 接続する

- ・ 接続コードのプラグをレセプタクルに差し込み、プラグ固定リングを時計回りにまわしてロックします。

⚠ 注意

プラグの抜き差しは、必ず電源を切った状態で行ってください。

4. 温度調節つまみで温度を設定する

⚠ 注意

こて先温度はできる限り低くしてご使用ください。温度回復に優れていますので、設定温度が多少低くても作業が可能です。

5. 電源を入れる

- ・ 電源プラグをコンセントにさしこみ、電源スイッチを入れます。

6. はんだ付け

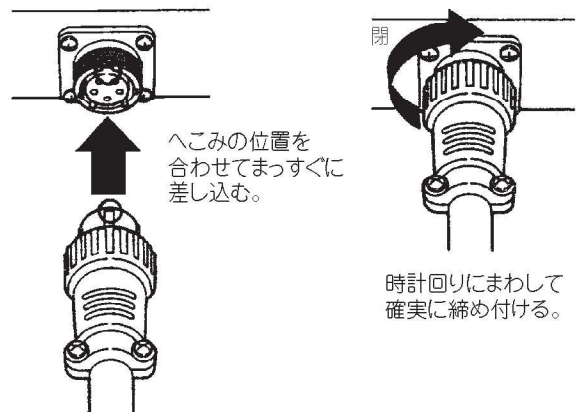
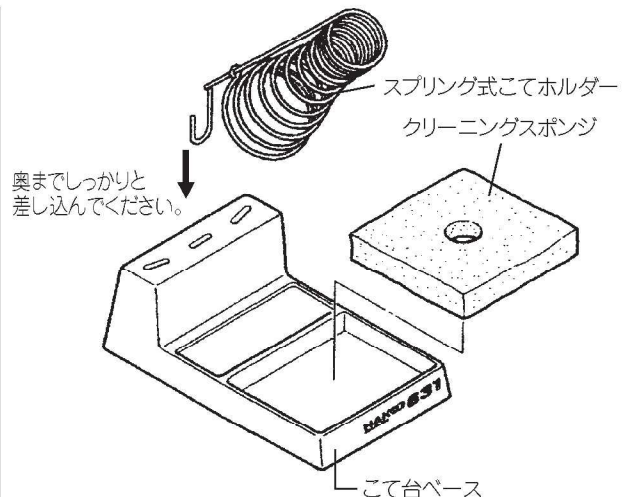
- ・ こて先が設定温度に達したら、はんだ付けできます。
- ・ 電源 ON 後、約 30 秒で設定温度になります。

⚠ 注意

使用しない時はこてをこて台に置いてください。

⚠ 注意

作業が終わりましたら、こて先をきれいに拭ってから新しいはんだで先端を覆っておいてください。こて先の酸化を防ぎます。



6. 使い方（動作異常の時）

調子が悪いときや異常が認められるときは、次のところを調べてください。
部品の交換や簡単な修理で直ることがあります。

症 状		原 因
こて先が熱くならない	電源スイッチが点灯しない	・電源プラグがコンセントに差し込まれていない ・ヒューズが切れている
	電源スイッチは点灯するがLEDランプが点灯しない	・接続コードが断線している ・接続コードのプラグがレセプタクルに正しく差し込まれていない ・ヒーターが切れている
	電源スイッチ・LEDランプはともに点灯している	・ヒーターが切れている ・接続コードが断線している ・CAL調整があていない ・こてがレセプタクルに正しく差し込まれていない
こて先が熱くなりすぎる		・CAL調整があていない
こて先が熱くなったりならなかったりする		・コード断線を起こしかけている
こて先にはんだがのらない		・設定温度が高すぎる ・こて先に酸化被膜や汚れが付着している

お願い

修理をご依頼の際は、まことにお手数ですがこて部をステーションからはずし、両方を専用の一丁箱に入れて販売店・代理店までお届けくださいますようお願い申し上げます。

7. メンテナンス

■ こて先のメンテナンス

こて先に酸化被膜や汚れが付着しているときは次の手順で除去してください。

汚れがあまりにもひどい場合は、部品を交換してください。

1. 温度を 250° C にセットし、こて先をあたためます
2. 温度安定後、クリーニングスポンジでこて先を軽くこすり、汚れを除去してください。

△注意 汚れの除去にやすりを使用したり機械加工を行うことは絶対に避けてください。

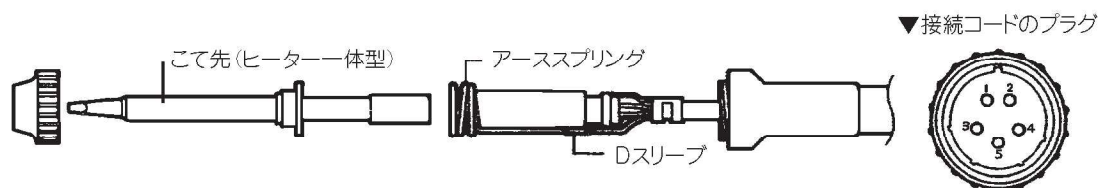
3. 新しいはんだでこて先の先端をおおておきます

■ アースラインの点検方法

アースラインは定期的に点検してください。接続コードのプラグの 1 番ピンとこて先間の抵抗値が 2 Ω 以下であれば正常です。

2 Ω を超える場合は次のところを調べてください。

- ・ プラグの 1 番ピン ———— この間の抵抗値が 2 Ω 以上の場合は、接続コードのアー
- ・ こて内部の D スリーブ ———— スラインが断線しています
- ・ アーススプリングとこて先が接触不良を起こしていませんか



■ ヒーター切れの調べ方

プラグのピン間の抵抗値を測定し、下記の値をはずれる場合は部品を交換してください。

- ・ ヒーター 3 番ピンー5 番ピン間 5.0 ～ 5.5 Ω (23° C の時)
- ・ センサー 2 番ピンー4 番ピン間 108.3 Ω (23° C の時)

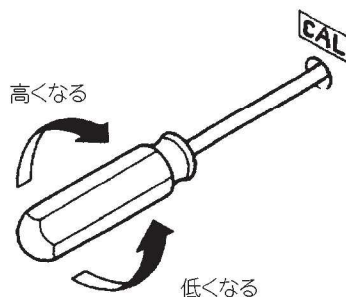
8. 温度校正

次のような場合には、必ず温度校正を行ってください。

- ・ はんだこてをかえたとき
- ・ ヒーターを交換したとき
- ・ こて先の種類をかえたとき

◆ 校正の仕方 ◆

1. 電源を入れる
2. 400° C に温度設定する
3. こて先温度の測定
 - ・ 温度安定後、こて先の温度を測定します
4. 温度校正
 - ・ こて先の温度が 400° C になるよう、ドライバー（－）でステーション後面のポテンショメーター（CAL 表示のある穴）を調節してください。右に回せば高くなり、左に回せば低くなります。



※こて先温度の測定には、ハッコー 191 または 192 をお使いください。

9. 部品交換

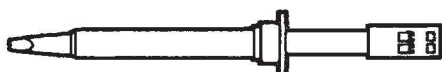
■ こて先交換方法

こて先は消耗部品です。作業性が悪くなったら交換してください。

交換の際は必ず電源を切り、こて先およびこて内部のヒーターが常温になってから行ってください。

★こて先

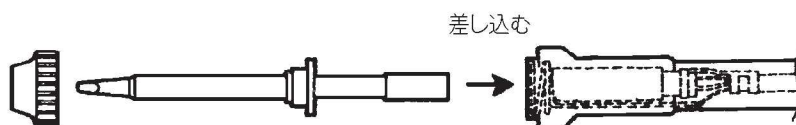
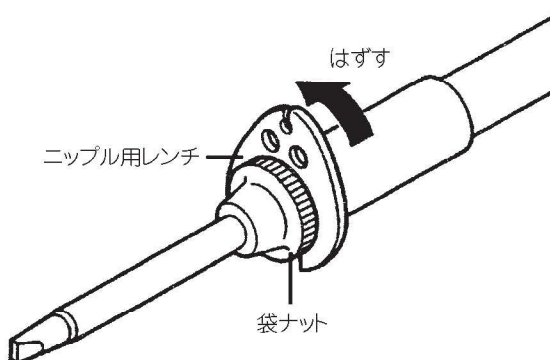
ヒーターと一体となっています。絶対にはずさないでください。



1. 電源を切る
2. ステーションからこてをはずす
3. 袋ナットをはずす
 - ・ 付属のニップル用レンチを使って、図のようにはずす
4. 交換
 - ・ こて先を抜き取り、新しいこて先をとりつける

⚠注意

- ・ 交換こて先は専用の純正部品をご使用ください。
- ・ こて先の種類をかえたときは温度校正を行ってください。



5. 袋ナットを取り付ける

⚠注意

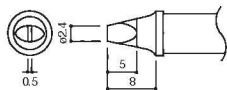
袋ナットはしっかりしめてください。ゆるんだまま使用すると、ヒーターが折れるおそれがあります。

6. 温度を校正する
 - ・ 温度校正の方法は、P 6 を参照のこと

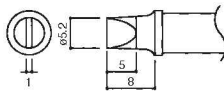
10. 交換部品

単位 : mm

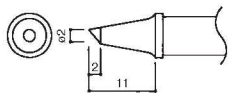
A1080 SHAPE-2.4D



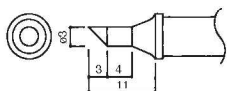
A1081 SHAPE-5.2D



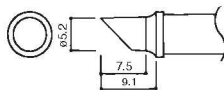
A1160 SHAPE-2C



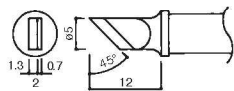
A1161 SHAPE-3C



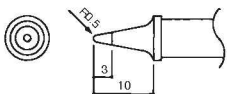
A1162 SHAPE-5C



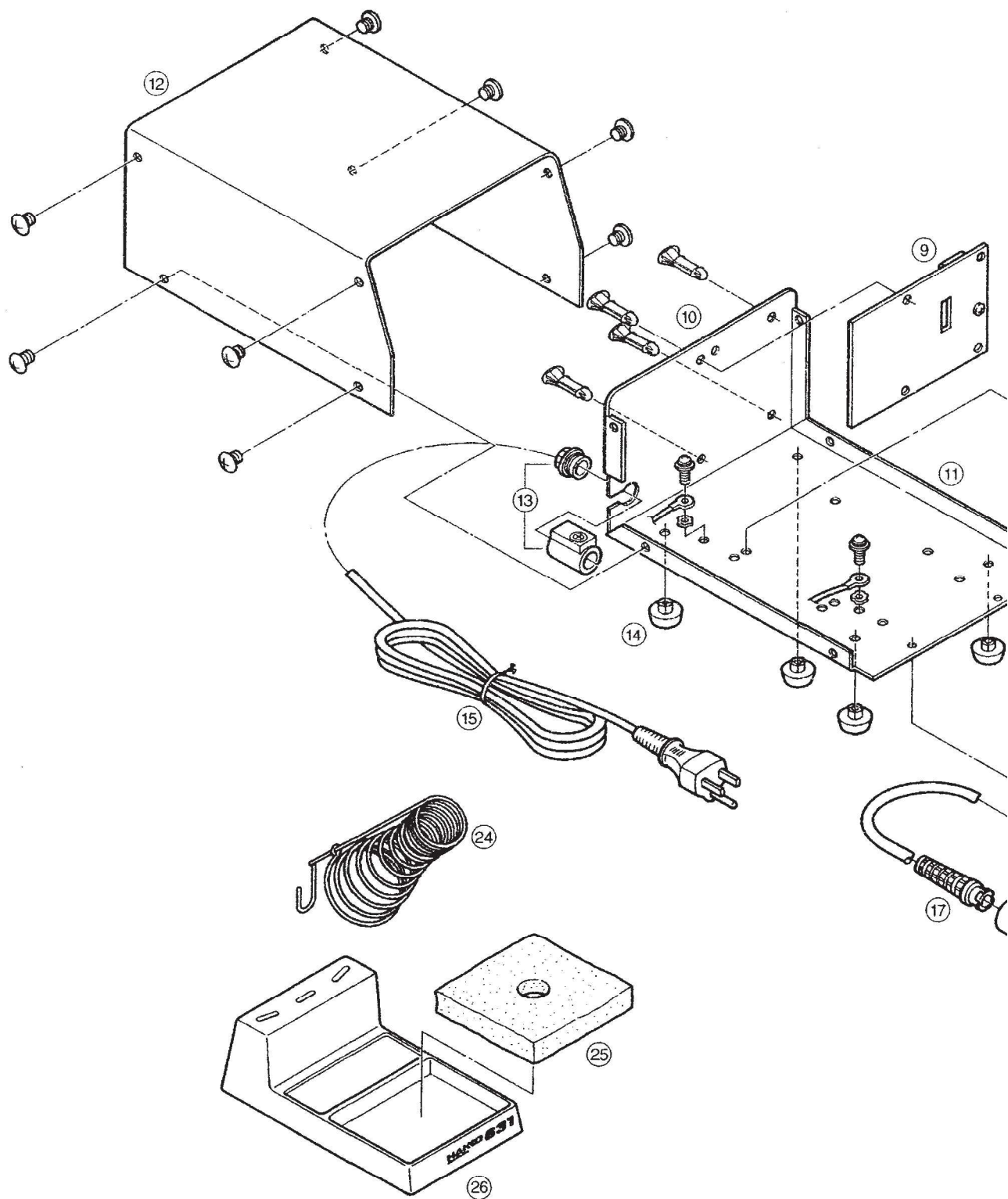
A1163 SHAPE-K

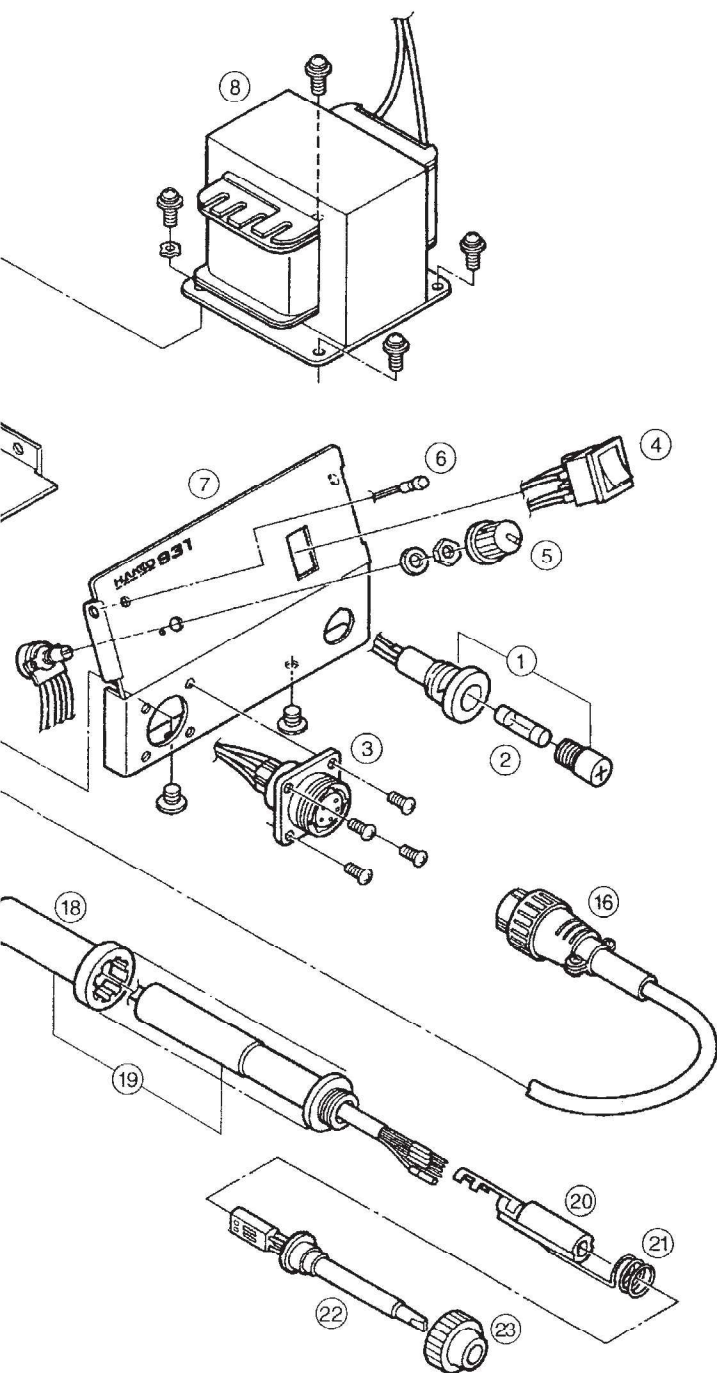


A1173 SHAPE-B



11. 分解図・部品リスト





図番	品番	品名／仕様
1	B1041	ヒューズホルダー
2	B1042	ヒューズ
3	B1485	レセプタクル
4	B1487	電源スイッチ
5	B1486	ツマミ
6	B2138	LEDランプ
7	B1488	パネル
8	B1493	トランス／100V-24V
9	B1491	基板
10	B1855	ロッキングスペーサー
11	B1490	シャーシ
12	B1489	カバー
13	B1208	コードストッパー
14	B1204	ゴム足
15	B1043	電源コード
16	B1327	接続コード
17	B1100	コードブッシュ
18	B1098	断熱カバー
19	B1321	グリップ／断熱カバー付き
20	B1550	ターミナル
21	B1549	アーススプリング
22	A1080	こて先／2.4D型
23	B1096	袋ナット
24	B1468	スプリング式こてホルダー
25	A1042	クリーニングスポンジ
26	B1470	こて台ベース



白光株式会社

<http://www.hakko.com/>

〒556-0024 大阪市浪速区塩草2丁目4番5号

TEL: (06) 6561-1574 (代) FAX: (06) 6568-0821